

## 2年生の芋植え体験

令和5年6月5日、今年も芋植えの季節がやってきました！

2年生の恒例となった芋畑での校外授業。廿日市市城内2丁目にあるれんげ祭りが行われるれんげ畑は、芋畑へと姿を変えます。

とてもキレイな畝（うね）ですね！  
（畝とは土を盛り上げた部分です。）



芋植えのお手伝いとして2年生保護者の方数名とPTA役員が参加しました。孫のためとおじいちゃんの参加も。紫外線たっぷり暑い日に、参加ありがとうございます！

そして、知ってる人は知ってる、知らない人は知らない（アタマエ）。芋畑での授業と言えば地域のこの方たち！

左から、見た目はクマのようだけど優しい「橋本さん」。佐方のイケメン「竹広さん」。優しさが泉のように湧き出てる「中尾さん」。

皆さんいつもありがとうございます！

植える前に児童へ苗の植え方を丁寧にレクチャーをされていました。





レクチャーが終わり、いよいよ苗を児童の手に渡る時がきました。保護者の方が2本ずつ児童へ渡せるようスタンバイ。そして児童たちは一列に並んで、いざ決戦へ！

今年植えるさつまいもの品種は、「紅はるか」、「鳴門金時」、「種子島 紫」の三種です。どんな芋ができるか楽しみです。

さすが2年生！

一学年上がるだけで説明を聞く姿勢がちゃんとできています。それとも暑かったのか、早く植えたくて静かにソワソワしているのか、...



児童たちは苗を植えるために土を掘るのですが、...

日頃から砂いじりには慣れているけれども、土いじりに慣れていないのか。それとも腕や手のチカラが弱いのか。道具を使わず土を掘るのですが、苗を植えるのに最適な大きさ、深さに土が掘れない児童が続出しました。

土に触れる経験は、今の子どもたちには貴重な経験だったかもしれませんね。

児童たちは、一人2本ずつの苗を植え終わり、全員で大きな声で「ありがとうございました！」と地域の方たちにお礼を言って学校へ帰っていきました。

その後、植えられた苗のチェックをします。これをしておかないと、最適な大きさ、深さに掘れずに植えられた苗は、雨などで流されうまく根付かず枯れてしまったり、生育不良の原因になってしまいます。

この二つの苗の画像は最適な大きさ、深さで土が掘られて植えた苗と、手直しが必要な苗です。どちらが最適な状態分かりますか？



最後に小さなお手伝いさん、ありがとうね！

佐方小学校に入学したら、今度は君が自分で植える番だ！

児童が学校へ帰った後、何をしているかはあえて言いませんが、お手伝いの保護者の皆さんにもしっかり手を汚してもらいました。

2年生が次畑に来るのは芋の収穫のときです。植える、掘る以外の作業に関わることはないですが、自分が手や服を汚して植えて、そして同じように収穫をする。この僅かな経験で何かを少しでも感じ取って何かを学んでもらえれば、この授業を企画した先生方や地域の方、そして保護者の皆様にとってこの上ない喜びとなるのではないのでしょうか。

記事作成：PTA 北村敏彦